



小須戸公民館報

発行所 小須戸町 中央公民館
発行人 岡 謙 吾
発行日 毎月 15 日

ちよこつと一言 (58)

師走も押し迫ったある朝、同じ町内に住む友がちよこつと淋しそうな顔で私を訪ねた。なにかあるの、との問いに言葉をにこして仲々話してくれない。ようやく出た言葉は私引越すとの事。うそでしょうという私の目からはもうたまりません、涙が滝のようにあふれ出てとまらない。



「友」
文京町
河内ヒロさん

なにして二十年来の友なのです。自分の城を建てて目出たい事なのに、私を一人置いて行くのと彼女をせめてまわって居りました。私にとっては両親に死別した時のような悲しみなのです。しかし、それ程の友を持った事を誇りに思つて悦びつ、心をおちつけている今日この頃です。

新年あけましておめでとうございます 1993年 年頭のごあいさつ

小須戸町教育長 椿 克己



恭頌新禧

皆様それぞれに穏やかな新春をお迎えのことと存じ、お慶びを申し上げます。

町長の号砲によりスタートした元旦マラソンも第二十一回大会ということで、二十一世紀に向けた記念すべき大会になりました。ただ中学生の参加が意外に少なく、残念な面もありましたが、開会前には薄日も差すなど絶好のコンディションに恵まれ、親子ペアを含めて保育園児から八十一才のご老体まで、実にバラエティに富み、参加者全てが、完走され参加の目的を達成されました。

健康がお金では買えないものであることを思い、元旦早々の健康づくりに参加くださった皆さんのご熱意に敬意を表したいと思います。又、今年は昨年よりも、はるかに多くの方々がコースの沿道で、選手の激励と応援に出てくださいったことにも感謝いたしました。

走るだけでなく、これも立派な参加の形であると思うます。昨年はゲートボールよりは多少運動量の多い軽スポーツも幾つか開発され、派遣社会教育主事・体育指導員の指導で相当数の皆さんが参加されました。町民の健康づくりのため、ボランティアの方も含めた体育関係者のご努力にも感謝したいと思います。同時に、毎年のごながら、警察および交通指導隊の方々や

冒頭に元旦マラソンのこと等について書き出しますと、如何にも平和な新年の出来事のような気がしますが、実は九〇年代が大変な変化の多い年代であるかに思ひ至ります。四〇に余る宇宙実験をこなした子供達に宇宙授業を行なった毛利さんが、エンテヴァーから見たこの青い惑星上では、ソ連の消滅に始まった相次ぐ社会主義国の瓦解と混乱・民族間抗争による内乱と飢餓や難民問題・民族問題を含む宗教対立抗争など、加えて地球絶滅にも繋がりがねない環境問題も、政治・経済の動向と深く関わり合い二十一世紀を産む胎動は容易ならぬものを感じます。

ところで、教育問題では昨今九月以来実施された学校週五日制も、大方のご理解と各見各家庭の工夫が得られ、教育改革の趣旨に沿う動きが見え初めているように思います。

また、生涯学習ということが言葉しげく言われておりますがこれについては、世の中の変化と無関係ではなく、中国の書経の中の言葉に「人を玩ばば徳をなにして二十年來の友なのです。自分の城を建てて目出たい事なのに、私を一人置いて行くのと彼女をせめてまわって居りました。私にとっては両親に死別した時のような悲しみなのです。しかし、それ程の友を持った事を誇りに思つて悦びつ、心をおちつけている今日この頃です。」

失い、物を玩ばば志を失う」とありますが、千年を経た今日にも当て嵌まる教えではないかと考えられます。荀子も「学は思ふに原づく」と言い、「自得せんことを要す」と言いきり、「学以てやむべからず」と言っています。このことは、各人が自発的意志に基づいて、自己に適した手段・方法を選び、しかも生涯を通じて行なうこと(学び続ける)が大切であることを説いているのであり、実践者の主体性を第一義的に考えるという教育の原点にも合致する考えであります。しかも、成育の各段階で個性を尊重し人格形成をめざすという点でも、それぞれの家庭の在り方に関わる(自分で自分を教育する)自己教育力と家庭の教育力に負う所)重要な考え方であり、更に、最近の学校で(小須戸のみならず)骨折事故が増加しているという現実もそれぞれの家庭が、衣食住を含めた家庭の在り方を考える

てみることも必要であるように思われます。西年に因んで「はばたく年」にしたいとの願いを表現する為にも家庭と地域の教育力の向上のための努力を続けたいと考えています。偶感を述べて年頭の挨拶に替えさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます 今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

中央公民館長 岡 謙 吾

小須戸分館長 保科唯雄 矢代田分館長 平間安雄
横水分館長 野崎迪夫 新保分館長 川瀬哲治



小須戸町教育懇談会

十二月九日、公民館三階ホールで小須戸町PTA連絡協議会

主催の教育懇談会が開催され、町長、教育長、各学校長など教育関係者、団体代表など四十人が集まりました。今回のテーマは「子供を取り巻く問題と現状について」でした。このテーマに基づき学校・幼稚園PTA代表より提案・要望が出され、意見が交わされました。今年も幼稚園二年制運営など課題があります。これまで以上の学校・地域・家庭の話し合いが重要になってきます。

読んでつくする豆知識

目が疲れたら髪の毛を引っ張る

こめかみ部分の髪の毛を直角にピンピンと二分間引張ると血行がよくなり、疲れがとれます。



第二十二回元旦マラソン大会 八十名が元気に完走

一九九三年一月一日、新春恒例の元旦マラソン大会が開催されました。

冬としては薄日が差すなど暖かい日で、親子マラソン、小学生男子の部では昨年の記録を上回り、参加者は上は八十一才のおじいちゃんから、下は保育園児と幅広く、八十名の参加でした。



大会

二kmの部・五kmの部それぞれ事故もケガもなく、全員が元気に完走しました。

中央町通り、本町通り、うでこまのコース沿道のみなさん、ご声援ありがとうございました。各部門の結果は次のとおりです。

〈三kmコース〉

◆親子マラソンの部(小学一年～三年)
子の名 親の名
一位 中沢智絵・光浩組 12分52秒(田上町)

◆小学生男子の部(四年～六年)

一位 中野慎也 11分05秒(田上町)
二位 城丸浩志 11分28秒(矢代田)
三位 岩崎裕介 11分52秒(新保)

二位 中野一郎・清文組 13分45秒(新津市)
三位 北川真之・真也組 13分47秒(吉田町)

◆小学生女子の部(四年～六年)
一位 木伏寛子 13分27秒(矢代田)
二位 土田 恵 14分02秒(天ヶ沢)
三位 島田祥子 14分51秒(新潟市)

◆中学生女子の部
一位 吉田理恵 15分24秒(新保)

◆一般女子の部
一位 齋藤幸子 15分12秒(矢代田)
二位 加藤春子 17分51秒(矢代田)
三位 増井キヨイ 18分14秒(矢代田)

◆中学生男子の部
一位 齊藤晴也 20分35秒(矢代田)
二位 安井雅敏 27分16秒(本町五)

◆一般男子の部
一位 中沢光浩 17分35秒(田上町)
二位 松原俊昭 18分17秒(白根市)
三位 堀内三男 19分22秒(田上町)

12月の ナイス ショット



19日親子チャレンジ教室。サンタさんとハイ、チーズ。



22日矢代田分館婦人学級。正月の花を自分で生けてみました。



20日Xmas 社交ダンスパーティー。広いホールで楽しく踊っていました。

寒稽古のご案内
期日 二月一日(月) から七日(日)まで
会場 剣道・小須戸中体育館

生きたい講座
期日 一月二十九日(金)
午後一時三十分から三時
会場 小須戸町福祉センター
講師 駒形 聡さん(県民俗学 会常任理事)
※演題は前回に引き続いて「ふるさとの伝承文化」です。

ソフトバレーボール教室
期日 一月二十一日
〜三月十八日
毎週木曜日
時間 午後七時三十分～九時
会場 ふれあい会館ホール
※ボールが大きくソフトなため 痛くありません
※小学生以下は保護者同伴中学生は親の責任で参加して下さい

町民スキー教室
期日 二月二十七日(土)
二十八日(日)
行先 五日町スキー場
対象 全町民(小学生以下は保護者同伴)
定員 四十名
経費 大人・九千五百円
子供・八千五百円
(宿泊費・交通費)
集合 中央公民館前
午後一時十五分
申込方法 「中央公民館」または「ふれあい会館」へ参加料を添えて申し込んで下さい。
一月十八日(月) から申し込みに受け付けますが、定員になり次第、締め切ります。
指導 小須戸町体育指導委員がクラス分け指導をします。
主催 教育委員会・中央公民館

催し物
健康とマラソン
期日 二月十二日(金)
午後七時三十分より九時まで
会場 中央公民館(階会議室)
お話 川瀬哲治さん
(文京町二)

エアロビクス教室
期日 二月五日～三月二十六日
毎週金曜日
時間 午後七時三十分～九時
会場 ふれあい会館
会費 月額千円
ふくろう講座
期日 二月十二日(金)
午後七時三十分より九時まで
会場 中央公民館(階会議室)
お話 川瀬哲治さん
(文京町二)

リングル収集状況
1月1日現在
102.6 kg

図書だより
マンガ日本の歴史 36、38巻
石ノ森章太郎
朝のガスバール 筒井 康隆
犯罪の回送 松本 清張
棘のあるシート 阿木 燿子
国境の南、太陽の西 村上 春樹
白 秋 伊集院 静
異国の窓から 宮本 輝
明け方の夢 上・下 シドニー・シエルダン
安心して老いるために 羽田 澄子
悲しくて明るい場所 曾野 綾子
財界のミセスたち 上坂 冬子
一人息子と結婚して 三浦 暁子
わたしのおせっかい談義 沢村 貞子
人が好き 瀬戸内寂聴
眠れぬ夜に読む本 遠藤 周作
人生いつでも出発のとき 田中 澄江
ママ 千華を助けて 井上 和枝
脳死臨調批判 立花 隆
エイズの「真実」 山口 剛
四〇歳からの夫と妻の向きあい 門 より子
男の茶碗 高森 和子
何用あつて月世界へ 山本 夏彦
ヒマラヤの赤い自転車 石森 史郎
夜 狐 池波正太郎
夢の茶屋 池波正太郎
触れもせて 久世 光彦



(現在) (大正後期) 本町2通り

小須戸は信濃川水運の船付場として、又、対岸への渡し船など水上交通の駅として発展してきた町であった。町並についてはその当時と比較してもあまり変化はみられない。雁木が今より広いのは、冬期間の交通確保の役割を持っていたためである。

こすどもちん音写真展 (22)

文芸欄
志恩をチラリ覗かせ師へ賀状 吉田みな
あやかりたい夢いっぱい福寿草 保科志枝
今年こそ今年こそはの轍を踏む 我妻清作
福の神今度こちらと呼んでみる 加藤米二
珠達とトランプをして遊びおりの平凡も何か 見玉サツ子
遅速なく柱時計の音響き平成五年の朝を迎ふ 我妻清作
秋篠やすこし荒れたる御堂内伎芸天女のわれを 長井武雄
見たまふ 村山文子
黒服の男は立てり堤防に茫々と流る川を見つめ 村山文子
秋の陽は惜し気もなしに視界より燃ゆる夕陽を 村山文子
鳥影に消す

歩みにくい歩道
◆役場建設課
歩道は本来、ご指摘のとおり歩行に支障をきたすものであつてはなりません。しかし、現状は段差が激しいため非常に歩きにくい、急ぐ時などはつい、車への乗り入れを容易にする為、そのような工法で施行してあります。
尚、歩行に支障のある箇所等道路関係の方は一度歩いてみて下さい。早急に検討・改善を所に要望してまいります。
松ヶ丘匿名希望より

これは言いたい!
住みよい町へ

俳句
呼び声の御堂よりあり数柑子 内山越楼
木枯や序列あるなし六地蔵 間島秀穂
法隆寺われも善女や柿の秋 佐久間久子
うしろ向きの一人が招く焚火かな 吉田ミナ
音もなく列車の通る大枯野 成田常信
紅葉谷もゆるが如し弥彦苑 岡田みつゑ
目の前の秋夕焼の跳ね釣瓶 藤井 春
自販機に止まり損ね赤とんぼ 中野敏子

短歌
秋の陽は惜し気もなしに視界より燃ゆる夕陽を 村山文子
鳥影に消す

川柳
志恩をチラリ覗かせ師へ賀状 吉田みな
あやかりたい夢いっぱい福寿草 保科志枝
今年こそ今年こそはの轍を踏む 我妻清作
福の神今度こちらと呼んでみる 加藤米二

「これは言いたい」の原稿を募集しています。住所・氏名・TELを記入のうえ中央公民館「館報事務局」へ郵送、もしくは持参して下さい。匿名希望はその旨お書き添え下さい。